

就職支援希望アスリート「エントリーシート」

ふりがな	きくち ここな	性別	生年月日・年齢
氏名	菊地 心和	女	2003年3月14日
競技名／種別(種目)	フェンシング(サーブル)	21	歳
出身地	岩手県一関市		
現住所	東京都世田谷区		
所属先	日本大学		
練習場所	日本大学/味の素ナショナルトレーニングセンター		



【選手プロフィール】

■学歴・職歴

年	月	学歴・職歴
2021	3	岩手県立一関第二高等学校 卒業
2021	4	日本大学スポーツ科学部競技スポーツ学科 入学
2025	3	日本大学スポーツ科学部競技スポーツ学科 卒業見込み

■免許・資格

日本フェンシング協会公認審判員P級

■国際大会の主な戦績

年	月	大会名	戦績
2022	12	Junior World Cup 2022 (ドイツ/ドルマーゲン)	団体 3位
2023	4	2023世界ジュニア選手権大会(ブルガリア/プロヴディフ)	個人 15位
2023	8	FISU ワールドユニバーシティゲームズ 2021(中国/成都)	団体 8位

■国内大会の主な戦績

年	月	大会名	戦績
2022	1	第30回JOCジュニアオリンピックカップフェンシング大会	個人 優勝
2022	11	第72回全日本学生フェンシング選手権大会	個人 3位, 団体 優勝
2023	9	第76回全日本フェンシング選手権大会	個人 3位, 団体 3位
2023	11	第73回全日本学生フェンシング選手権大会	個人 優勝, 団体 優勝

■自己PR(競技で培った能力や経験を通じて企業に貢献できる内容など)

私はフェンシング競技を通じて「目標に対して忍耐強く努力する力」を身につけることができました。私は高校からフェンシング競技を始めました。未経験の私は慣れないことが多く、考えがネガティブになることが多々ありました。しかし、自分が強くなるためには何が必要かを考え、部活の練習時間とは別で基礎動作の反復練習や自分がモデルとする選手のプレー動画を見て研究を行い、自分のプレーに活かせるように工夫を続けました。大会では多くの敗北を経験し、思うような結果が出せずに苦しい時期もありましたが、目標達成への強い気持ちを持ち、反省と分析を日々繰り返しました。失敗や敗北を経験する度に自分自身の弱みや改善すべき点が理解できる様になり、一つずつ修正を行うことができました。その成果として競技力を向上させることができ、2023年の全日本選手権大会では3位、全日本学生フェンシング選手権では個人、団体共に優勝を成し遂げることができました。様々な状況に対する分析や研究と、そこから改善策を見つけ出し修正を繰り返す中で、日々の努力を忍耐強く継続することの大切さを学び、自分の成長と目標の達成に大きく繋がったと感じています。

私の目標は、世界で活躍できる選手となり2028年のロサンゼルスオリンピック出場しメダルを獲得することです。皆様の企業にご採用いただけた暁には、私が競技を通して得た学びや経験を企業様のご発展や社会貢献に最大限活かすことが出来るよう忍耐強く努めて参ります。

就職希望条件	
①職種・仕事内容	チームの目標達成に向けた推進力を業務遂行でも発揮したいと考えておりますが、どのような職種でも全力で取り組みます。
②勤務地	関東
③勤務日数・時間帯	週に1～2日程度の時短勤務を希望します。試合や遠征の際にはご配慮いただけますと幸いです。